令和3年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

令和3年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)														
事務事業名		し尿処理事務に要する経費						会計一般	款 4	項 2	3	多額経費		
 政策								担当課室	 クリーン推進課					
		環境衛生の充実						担当課室長	中川 聡					
		 =事務事業をよ				±١				7 7 7 700				
1 以里 1前回				IZQ)U)/J 5	<i>₹)</i>								
の評価 り、更なる設置 し尿処理手数: た内容 め、その向上の ②①に 基づく 補助制度の利		置補助制度について周知PRを図に向けて調査・研究をする。また、料の徴収率が低下傾向であるたりため、徴収の強化を行う。 用促進のためのお知らせ等を行の利用者は12件となった。			度に取組む 加を図るため.			び浄化槽の転換数の増 、対象者に対して更なるP い当該制度の利用促進を						
Ⅱ 事務	事業の目的・	概要												
①目的	対象						5濁の防止及び生活環境の保全 舌雑排水の水質汚濁物質の軽減							
②事務事	事業の概要	し尿収集運搬及びし尿処理手数料徴収を行う。また、水質汚濁を防止するため合併浄化槽 の設置を補助する。												
からの状況	分析(事業開始 記変化や今後の 民意向など)	長期的には、公共下水道の整備により汲取り世帯及び単独浄化槽世帯の減少が見込まれる。												
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況												
①令和2 の成果	年度の事業	合併処理浄化槽	の転換設置に対	tu	て、設置	費の一	部につい	ハて補助	助を行っ	た。	(121	牛)		
②成果		指标	票名称	平成30 令和元 令和2 単位 年度 年度			算定根拠							
を表す	İ		集∙運搬率	100 100 100				業務取得						
指標	ii		手数料徴収率					%	業務取得					
	iii	補助金利用設置合併浄化槽基			4	18				業務取得				
<u>③事務事</u>	業のコスト	令和元年度決算	令和元年度決算 令和2年度決算			を決算 (事業費	<u>)の主</u>	な内訳 令和3年度予				<u> 予算</u>	
事業費(-		93,333						内容	I den derbe	94,32				
	出金(千円)	2,752	1,480				し尿収集・運 浄化槽設置					2,960		
	出金(千円)		4,046 2,724 12,402 12,253			1,252	/尹16代	1改迫1	無 切				3,960	
市債その他(千円) 一般財源(千円)		12,402 12,253 74,133 74,276							_		ō-	7,405		
IV 評価		74,133	74,270							_		0	, ,, 00	
①課題(目的に対す る現状など) 今後の先行きは不透明であり汲取り便槽及び単独浄化槽から合併浄化槽への転換の件数 が伸び悩むことが予想される。								件数						
②評価		i 市関与の妥当性 3高い iii 公平 ii 有効性 3高い iv 効率					3高い 3高い ×総合評価 6精査・検証							
③上記評価の理由		日初日 15同じ 10 別年日 15同じ 15同じ									更			
Ⅴ 多額	の経費を要す	る事業等の「実	『施計画」におげ	ける	達成状	況								
	年度の計画				令和2年度事業 計画事業費 予算				∵況(単	·位;千円) 決算額				
②計画に対する事業実績				HIL	コデボ貝		当初			R1:	昇の から 繰越	X		
③達成状況						0	R1⇒R2繰越 補正		0		^{際越} 年分			
④未完了・非着手の理由				令和	13年度への	繰越額(単	流用·充当 位;千円)			-56-	⊢ / J			

			ケ谷市事務事簿	と にゅうしゅう とうしゅう とうしゅう しょう とうしゅう しょう とくしゅ しょう	(事後)	(標準語	平価表))					
7	事業名	柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合に要する経費(し尿処理等)						会計一般	款 4	項 2 3	多額経費		
 政策								担当課室	クリーン推進課				
施策		環境衛生の充実						担当課室長	■当課室長 中川 聡				
		=事務事業をより良く実施するための方策)											
①前回 の評価 で掲げ を ②①に 基づく 取組み	回 アクアセンターあじさいの修繕計画について、 環境衛生組合及び構成市と調査・協議を行ったうえで作成する。 に 焼却施設の延命化等の計画との整合性を図る 必要があるため、あじさいの修繕計画の調査 協議について引き続き協議を継続する必要が			③令度に改革					−あじさいの修繕計画につ 生組合及び構成市との調 き続き行っていく。				
Ⅱ事務署	事業の目的・												
①目的	①公共下水道を使用していない 者 ②柏・白井・鎌ケ谷環境衛生組合			意図(対 するのか		し尿及	び浄化	槽汚泥	の適	正処理			
②事務事	業の概要	構成団体(柏市沼南地区・白井市・鎌ケ谷市)の地区内で排出されたし尿、浄化槽汚泥を適正処理するために建設された施設の維持管理等の経費を負担する。											
からの状況 見込み・市!		施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。長期的に公共下水道供用開始区域 の拡大により処理量の減少が見込まれる。											
Ⅲ事務署	事業の成果や	やコストの状況											
①令和2年 の成果	年度の事業	し尿処理費用に係る負担金を支出した。											
②成果			票名称	平成:	30 令和元 年度	令和2 年度	単位	算定根拠					
を表す 指標	i ii	し尿	10	0 100	100	%	業務取得						
	iii												
③事務事	業のコスト	令和元年度決算	決算 令和2年度決算						な内訳 令和				
事業費(千	-円)	211,795	224,153		額(千円) 内容			187,			予算		
国支出金(千円)											<u>予算</u> 7,624		
					178,303		理費を	}					
県支出	金(千円)					し尿処 管理費	理費を	}					
県支出 市債そ	金(千円) の他(千円)	211 705	224 152				理費を	<u>}</u>		18	7,624		
県支出 市債そ 一般財	金(千円) の他(千円) 涼(千円)	211,795	224,153				理費を	>		18			
県支出 市債そ 一般財 IV 評価・	金(千円) の他(千円) 源(千円) ・検討 目的に対す		224,153 朽化による維持 ⁴	管理費の	45,850	管理費	理費分	}		18	7,624		
県支出 市債そ 一般財 IV 評価・ ①課題(E	金(千円) の他(千円) 源(千円) ・検討 目的に対す	今後も施設の老 i 市関与の妥当性	朽化による維持・	iii公平	45,850増加が見	管理費込まれ 3高い	理費分	∀ ∀ 総合		18	7,624		
県支出 市債そ 一般財 IV 評価・ ①課題(ほ る現状なの ②評価	金(千円) の他(千円) 源(千円) ・検討 目的に対す	今後も施設の老 i 市関与の妥当性 ii 有効性	朽化による維持な	iii 公平 iv 効率	45,850 増加が見 性 性	管理費 込まれ 3高い 3高い	理費分	· v 総合	評価	18 18 6精査・	7,624		
県支出 市債そ 一般財 IV 評価・ ①課題(ほ る現状な ②評価 ③上記評	金(千円) の他(千円) ・源(千円) ・検討 目的に対す ど)	今後も施設の老 i 市関与の妥当性 ii 有効性	朽化による維持 3高い 3高い ⁵ 等、各設備の老	iii 公平 iv 効率 朽化が進 tる達成	45,850 増加が見 性 性 ばんでいる 状況	管理 込まれ 3高い 3高い ため必	理費分	∀総合善善	評価を検討	18 18 6精査・ 対してい	7,624		
県支出 市債そ 一般財 IV 評価・ ①課題(ほる現状なる ②評価 ③上記評 V 多額(金(千円) の他(千円) ・源(千円) ・検討 目的に対す ど)	今後も施設の老 i 市関与の妥当性 ii 有効性 脱水汚泥焼却炉	朽化による維持 3高い 3高い ⁵ 等、各設備の老	iii 公平 iv 効率 朽化が追 ける達成	45,850 増加が見 性 性 んでいる 状況 令和2年	管理 込まれ 3高い 3高い ため必	要な修行を	∀総合善善	評価を検記	18 18 6精査・ 対してい 千円)	7,624		
県支出 市債そ 一般財 で 評価・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	金(千円) の他(千円) ・源(千円) ・検討 目的に対す ど) ・価の理由	今後も施設の老 i 市関与の妥当性 ii 有効性 脱水汚泥焼却炉	朽化による維持 3高い 3高い ⁵ 等、各設備の老	iii 公平 iv 効率 朽化が進 tる達成	45,850 増加が見 性 性 んでいる 状況 令和2年	管理 込まれ 3高い ため必 東 算額 当初	要な修行を	∀総合善善	評価 位; - ・ R17	18 18 6精査・ 対してい 手円) 算額 いら	7,624		
県支出 市債そ 一般財 で 評価・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	金(千円) の他(千円) ・源(千円) ・検討 目的に対す ど) 価の理由 の経費を要す 年度の計画 対する事業実績	今後も施設の老 i 市関与の妥当性 ii 有効性 脱水汚泥焼却炉	朽化による維持 3高い 3高い ⁵ 等、各設備の老	iii 公平 iv 効率 朽化が追 ける達成	45,850 増加が見 性 性 んでいる 状況 令和2年	管理 3高い ため必 を事業 3高い	要な修行を	∀総合善善	評価を検言・決 R17の糸	18 18 6精査・ 対してい 千円) 算額	7,624		

□ 事務事業の目的・概要 □ 市内畜犬、飼い主のいない猫 意図(対象をどう するのか)		,	令和3年度 鎌	ケ谷市事務事業	集評	平価表(事後)	(標準評	平価表))						
政策	事務	務事業名	狂犬病予防等に要する経費							会計	款	項	目	多額経費		
放革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)											4	1	1			
1 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策) 1 前回 の評価		政策 —————	快適な暮らしの環境をつくります													
① 計画 の評価											☆					
前回 種の水の側に生がし接種を促すための強化を図る。	I 改革	· 改善内容(=														
①目的 対象	の評価 で掲った ②① ② ② ② ② ② ② ②	種の犬の飼い主にまた、「飼い主のしは、事業開始後7ついて獣医師会とのいない猫」の個化を図る。 未接種の犬の飼い 2回発送した。 市民からの猫に交巡回指導を年5回	対し接種を促すためいない猫不妊・去勢補年が経過することから協議する必要がある体数の抑制を図り、保 ・主に対し接種を促す する問い合わせを解 実施した。	接種を促すための強化を図る。 猫不妊・去勢補助事業」について 経過することから、事業の在り方に する必要がある。引き続き、「飼い主 力抑制を図り、保健所巡回指導の強 で対し接種を促すための督促状を年 問い合わせを解決するため保健所			票の交付についての提言があった。実施した場合、飼い主の負担軽減となるが契約締結や費用負担等の問題がある。昨年度に調査した県内34市の取り組み状況を検証し実施可能か検討する。「飼い主のいない猫不妊去勢助成事業」については、事業開始から8年が経過することから、交付決定の期間や頭数等、事業の在									
①目的 対象	Ⅱ事務	事業の目的・	概要													
②事務事業の概要								い主のいたに規定され	ない猫の個 ıている「丿	体数の増	加を	抑制し、	動物家	愛護法		
からの状況変化や舎後の 見込み・市民意向など) が求められている。これには長い期間での持続的な対策が必要となってくる。	②事務事		登録や予防注射済みの所有者に鑑札及び注射済証を交付する。 集合注射が行えなかった場合には、動物病院で予防注射を行った後に、窓口で鑑札及び注射済証の交付を行う。 また、動物愛護の観点から「人」と「動物」との共生社会を目指し、「飼い主のいない猫」による生活環境への影響を													
①令和2年度の事業 の成果	からの状況変化や今後の的位置づけが変化し、「動物の愛護及び管理に関する法律」が改正され、人と動物が共生															
の成果	Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況													
全長す	O	年度の事業									足を	実施	もした	- °		
1	②成果		指標名称						単位							
iii	を表す	i		のいない猫死体処理数		75.4	74.3	72.7	%							
iii	指標	ii	飼い主のいない			305	283									
事業費(千円)		iii	飼い主のいない猫不妊去勢実													
国支出金(千円)	③事務事	業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令	和2年度	ま決算(事業費	()の主	な内訳	令	和34	丰度	予算		
県支出金(千円) 市債その他(千円) 一般財源(千円)195155144印刷製本費一般財源(千円) 一般財源(千円)3,8993,8113 畜犬登録促進指導委託 826 細いまのいない場所を対する必要がある。 また、「飼い主のいない猫」の人への生活被害が寄せられている。4,687①課題(目的に対する現状など)ここ数年の狂犬病予防注射の接種率の伸び悩みを解消する必要がある。 また、「飼い主のいない猫」の人への生活被害が寄せられている。また、「飼い主のいない猫」の人への生活被害が寄せられている。②評価近方効性 前方効性 前方効性 3高い 11 有効性 11 有効性 12 方効性 13 高い 12 方効率性 13 高い 12 方針の 13 高い 12 大場子防法により、市に義務付けられた業務であるため、未接種犬の飼い主への督促を今後も継続していく必要がある。 12 所以会要がある。 13 高い 13 高い 14 大場予防法により、市に義務付けられた業務であるため、未接種犬の飼い主への督促を今後も継続していく必要がある。 14 日本によりようないない猫による糞・尿被害や鳴き声など市民からの苦情が多くなっていることから、猫の個体数の増加を抑制するため、今後も継続していく必要がある。 15 予和2年度の計画 16 予和2年度の計画 17 予算額 17 予算額 18 日本にはは、 18 日本にはは、 	事業費(=	千円)	4,094	3,966	V-1	金額(千	円)							4,687		
市債その他(千円)	国支出	出金(千円)					1,621	会計年	度任月	用職員						
一般財源(千円) 3,899 3,811 3	県支出	出金(千円)	195	155			144	印刷集	具本費							
	市債ぞ	その他(千円)							Ĺ							
Type	一般財源(千円)		3,899	3,811	3,3							4,687				
 ①課題(目的に対する現状など) ②評価 □ 市関与の妥当性 3高い			826 飼い主のいない猫不妊去勢							手術助成金	L					
る現状など) また、「飼い主のいない猫」の人への生活被害が寄せられている。 ②評価 i 市関与の妥当性 3高い iii 公平性 ii 有効性 3高い iv 効率性 3高い v総合評価 6精査・検証 3上記評価の理由 狂犬病予防法により、市に義務付けられた業務であるため、未接種犬の飼い主への督促を今後も継続していく必要がある。 飼い主のいない猫による糞・尿被害や鳴き声など市民からの苦情が多くなっていることから、猫の個体数の増加を抑制するため、今後も継続していく必要がある。 V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況	IV 評価	ⅰ検討														
②評価 ii 有効性 3高い iv 効率性 3高い V総合評価 0桁貨・検証 狂犬病予防法により、市に義務付けられた業務であるため、未接種犬の飼い主への督促を今後も継続していく必要がある。飼い主のいない猫による糞・尿被害や鳴き声など市民からの苦情が多くなっていることから、猫の個体数の増加を抑制するため、今後も継続していく必要がある。 V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況 マ和2年度事業費の状況(単位:十円) ・ 次算額 ①令和2年度の計画 ・ 次算額 ・ 次算額 ・ 次算額 ・ 次算額 ②計画に対する事業実績 ・ 3 直い ・ 3 直い ・ 3 直い ・ 3 直い ・ 6 相の個体を今後も継続していく必要がある。 ②計画に対する事業実績 ・ 3 直の状況(単位:十円) ・ 5 算額 ・ 2 算額 ・ 2 算額 ・ 3 直の繰越 ・ 7 直の繰越 ・ 7 直の繰越 3 直の繰越 ・ 3 直の繰越 ・ 7 直の繰越 3 直の繰越 ・ 7 直の繰越 3 直の								が寄せ			バあ	うる 。				
③上記評価の理由 していく必要がある。 飼い主のいない猫による糞・尿被害や鳴き声など市民からの苦情が多くなっていることから、猫の個体 数の増加を抑制するため、今後も継続していく必要がある。 V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況 ①令和2年度の計画 令和2年度事業費の状況(単位:十円) 計画事業費 ②計画に対する事業実績 当初 の繰越 ③達成状況 日は日本院の機構 ④本完了・非養毛の理中 現年分	②評価					v 総合	評估	6米	青査・	検証						
①令和2年度の計画 令和2年度事業費の状況(単位:十円) 計画事業費 予算額 決算額 ②計画に対する事業実績 当初 RIからの繰越 ③達成状況 補正 の繰越 ①未完了・非善手の理中 現年分	③上記評価の理由		していく必要がある。 飼い主のいない猫による糞・尿被害や「			○鳴き声など市民からの苦情が多くなっていることから、猫の						-				
計画事業費 予算額 決算額 ②計画に対する事業実績 3達成状況 通末ではまままの理中 1	V 多額の経費を要す		る事業等の「実													
②計画に対する事業実績 (3)達成状況 (4)ま完了・非善手の理中 (5) 第四手表質 (7) 第一部	①令和2年度の計画				量上市		和2年			況(里						
③達成状況 10 ④ま完了・非常手の理中 現年分					a f	当尹未貸		<u> 当初_</u>			R	1から				
①ま完了・非善毛の理中 端用·充当 場中 パープ	_						0	相子R2繰越		0						
[2] [1] [2] [2] [2] [2] [2] [2] [2] [2] [2] [2					令和	13年度への	繰越額(単			<u> </u>	均	牛分				